

久喜市議会だより

No.7

平成23年12月1日

発行/久喜市議会 編集/久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見85の3 ☎0480(22)1111(代)
 FAX 0480(21)6061 [HP] <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> [E-mail] gikai@city.kuki.lg.jp

全日本マーチングコンテストにそろって出場 おめでとう!



久喜東中学校吹奏楽部 (上)
 栗橋東中学校吹奏楽部 (左)

全国大会に向けて
 両校とも猛特訓中!!

◇9月定例会の概要.....(2)

可決

平成23年度一般会計補正予算
 路上喫煙の防止に関する条例
 水道給水条例の一部を改正する条例

◇提出議案とその結果.....(3)

市長提出**28**件、議員提出**2**件、請願**2**件

◇決算常任委員会.....(4)

主な質疑と討論

◇委員会付託議案とその結果.....(5)

◇市政に対する一般質問.....(6)~(14)

~**25**人が市政を問う!!~

◇委員会所管事務調査.....(15)

京都府京丹後市、三重県鈴鹿市.....議会運営委員会
 兵庫県明石市、大阪府羽曳野市他...総務財政市民常任委員会
 市内7箇所の水道施設.....環境建設水道常任委員会
 市内教育施設、大阪府四條畷市他.....文教常任委員会

◇意見書・陳情他.....(16)

11月定例会のお知らせ

平成23年11月定例会は、次の日程で
 午前9時から開催される予定です。

月 日	内容	概 要
11月21日(月)	委員会	議会運営委員会
11月28日(月)	本会議	開会、議案上程
12月 1日(休)		市政に対する一般質問
12月 2日(金)		市政に対する一般質問
12月 5日(月)		市政に対する一般質問
12月 6日(火)		市政に対する一般質問
12月 8日(木)		議案質疑
12月12日(月)	委員会	予算常任委員会
12月13日(火)		総務財政市民常任委員会
12月14日(水)		環境建設水道常任委員会
12月15日(木)		福祉健康常任委員会
12月16日(金)		文教常任委員会
12月21日(水)	本会議	討論・採決、閉会

9月定例会

会期8月30日(火)～10月4日(火)

概要

平成23年9月定例会は、8月30日から10月4日までの36日間の会期で開催されました。市長提出議案は、決算認定10件、補正予算9件、条例等9件、すべて認定、原案どおり可決、同意されました。また議員提出議案については、提出された2件のうち1件が原案どおり可決されました。請願2件は不採択となりました。

○市長提出議案の主な内容

平成23年度久喜市一般会計 補正予算(第5号)について

2億6270万円増額

歳出で増額した主なものは、

- (総務費) 本庁舎耐震化整備事業、交通安全施設等台帳整備事業
 - (民生費) 公的介護施設等整備補助事業、地域子育て支援センター整備事業
 - (衛生費) 合併浄化槽普及促進事業
 - (土木費) 橋りょう維持管理事業
 - (消防費) 防災体制整備事業
 - (教育費) 小学校パソコン教室エアコン設置事業、中学校校舎補修事業
 - (災害復旧費) 南栗橋スポーツ広場災害復旧事業
- この結果、予算総額は、436億7370万2000円になります。

平成23年度久喜市一般会計 補正予算(第6号)について

2億5400万円増額

歳出で増額した主なものは

- (総務費) 被災者住宅再建支援事業
 - (諸支出金) 東日本大震災被災者支援基金積立事業
- 最終的に、予算総額は、439億2770万2000円になります。

久喜市路上喫煙の防止に関する 条例について可決

路上喫煙の防止に必要な事項を定めることにより、喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、市民等の安全で快適な生活環境を確保するため、制定される条例です。「路上等」、「路上喫煙」、「受動喫煙」、「市民等」、「事業者」について定義づけし、路上喫煙禁止区域の指定、変更、解除についてふれています。そして、目的の実現のために市、市民及び事業者の責務を規定し、その他、違反した場合の指導、罰則などについても定めています。

久喜市水道給水条例の一部を改 正する条例について可決

水道事業区域ごとに異なる料金の統一及び水道事業の健全なる運営を図るため、水道料金（基本料金と水量料金）及び加入金（量水器の口径の区分による）の改定を実施する内容となっています。

人事議案

下記の人事について議会の意見を求められ、同意しました。

- 久喜市名誉市民
鈴木芳男氏（久喜市除堀）
- 久喜市人権擁護委員
原 莊子氏（久喜市菖蒲町小林）

議員名簿

議席番号	氏名(会派)	常任委員会 (◎委員長、○副委員長)	
		決算	福祉健康
1	渡辺 昌代(日本共産党)	決算	福祉健康
2	石田 利春(日本共産党)	予算	総務財政市民
3	木村 奉憲(日本共産党)	予算	文教
4	杉野 修(日本共産党)	決算	環境建設水道
5	梅田 修一(飛 翔)	決算	福祉健康
6	井上 忠昭(飛 翔)	予算	◎総務財政市民
7	大谷 和子(飛 翔)	予算	文教
8	上條 哲弘(飛 翔)	予算	総務財政市民
9	園部 茂雄(政策会議)	決算	環境建設水道
10	春山 千明(政策会議)	予算	○文教
11	富澤 孝至(政策会議)	決算	福祉健康
12	田村 栄子(無会派)	決算	福祉健康
13	齋藤 広子(公明党)	予算	福祉健康
14	矢崎 康(公明党)	決算	○総務財政市民
15	鈴木 精一(飛 翔)	○決算	総務財政市民
16	並木 隆一(飛 翔)	◎予算	○福祉健康
17	田島 行雄(飛 翔)	決算	環境建設水道
18	鈴木 松蔵(飛 翔)	決算	福祉健康
19	盛永 圭子(飛 翔)	—	福祉健康
20	柿沼 繁男(飛 翔)	予算	◎文教
21	猪股 和雄(政策会議)	予算	文教
22	石川 忠義(政策会議)	予算	環境建設水道
23	新井 勝行(政策会議)	予算	総務財政市民
24	内田 正(政策会議)	決算	総務財政市民
25	岡崎 克巳(公明党)	予算	環境建設水道
26	足立 清(公明党)	予算	◎福祉健康
27	戸ヶ崎 博(公明党)	◎決算	文教
28	松村 茂夫(飛 翔)	予算	総務財政市民
29	青木 信男(飛 翔)	○予算	文教
30	宮崎 利造(飛 翔)	決算	◎環境建設水道
31	大鹿 良夫(飛 翔)	決算	環境建設水道
32	山田 達雄(飛 翔)	決算	総務財政市民
33	岸 輝美(飛 翔)	—	文教
34	鎌田 忠保(飛 翔)	決算	○環境建設水道

提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(決) 決算常任委員会

(環) 環境建設水道常任委員会

(文) 文教常任委員会

○…賛成 ×…反対 ▲…退席

飛翔……飛翔

政策……政策会議

公明……公明党

共産……日本共産党

無派……無会派

●9月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第53号	平成22年度久喜市一般会計歳入歳出決算認定について(決)	○	○	○	×	○	認定
議案第54号	平成22年度久喜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について(福)	○	○	○	×	○	認定
議案第55号	平成22年度久喜市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について(福)	○	○	○	○	○	認定
議案第56号	平成22年度久喜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(福)	○	○	○	×	○	認定
議案第57号	平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について(福)	○	○	○	×	○	認定
議案第58号	平成22年度久喜市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(環)	○	○	○	×	○	認定
議案第59号	平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について(環)	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について(環)	○	○	○	×	○	認定
議案第61号	平成22年度久喜市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について(総)	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	平成22年度久喜市水道事業会計決算認定について(環)	○	○	○	×	○	認定
議案第63号	平成23年度久喜市一般会計補正予算(第5号)について(予)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	平成23年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	平成23年度久喜市介護保険特別会計補正予算(第1号)について(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	平成23年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	平成23年度久喜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号	平成23年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	平成23年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	平成23年度久喜市水道事業会計補正予算(第2号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	久喜市都市宣言検討委員会条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	久喜市税条例等の一部を改正する条例(総)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第74号	久喜市都市計画税条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第75号	久喜市路上喫煙の防止に関する条例(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号	久喜市水道給水条例の一部を改正する条例(環)	○	○ ⁶ × ¹	○	×	○	原案可決
議案第77号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号	平成23年度久喜市一般会計補正予算(第6号)について(予)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第79号	久喜市名誉市民の推挙について	○	○	○	○	○	同意
議案第80号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意

○報告第5号 継続費精算報告について【平成22年度久喜市水道事業】

○報告第6号 平成22年度決算に係る財政健全化に関する比率の報告について

●9月定例会（議員提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
意見第9号	埼玉県久喜市南栗橋地域液状化被災に対し埼玉県の支援を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第10号	安心して子育てができる環境改善を求める意見書	× ¹⁵ ▲ ¹	×	×	○	×	否決

●9月定例会（請願）

請願番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
請願第2号	旧1市3町の水道料金の統一について値上げをしないことを求める請願(環)	×	○ ¹ × ⁶	×	○	×	不採択
請願第3号	水道料金の値上げを認めず値下げを求める請願書(環)	×	○ ¹ × ⁶	×	○	×	不採択

決算常任委員会

9月定例会で付託された平成22年度決算は、3日間にわたり決算常任委員会で審査されました。紙面の都合上、一般会計の主な質疑と討論について掲載します。



平成22年度一般会計歳入歳出決算認定について

《主な質疑》

問 合併記念事業。当初予算は785万円で組んで、補正を939万円組みながら430万円も不用額が出ている。どうして補正を組みながら残額が出たのか。

答 合併記念式典前夜祭で、旧1市3町から山車11台、みこし3基、おはやし2団体にご参加いただいたが、当初予定した中から、山車が7台、みこしが4台減ったこと並びにこの祭りの実行委員会の会計監査並びに実績報告が3月になってしまったことからこのような不用額が発生した。

問 中学生の派遣受け入れ事業について、新久喜市全体の地区ごとの受け入れ人数は。

答 ローズバーグから20名の中学生と3名の先生、合計23名である。菖蒲地区で受け入れをした。

問 22年度から市税等のコンビニ収納があったが、その件数と、収納率に関する総括はあるか。

答 コンビニ収納の件数は、平成22年度は6万8709件、内訳として、市民税が4万8550件、国民健康保険税が2万159件。収納額合計11億8927万5667円をコンビニで収納した。あと、コンビニ収納の件数の22年度の7月までと23年度の7月までを比較して、23年度が7月まで4万676件、22年度が3万4368件で、6308件コンビニ収納が増えている。ただ、残念ながら収納率が上がることはちょっと考えられない。

問 社会福祉協議会補助事業について、263万円ほど不用額が出ている理由は、社会福祉協議会運営費補助金の精算によるためということであるが、この補助金の計算の根拠を伺う。

答 社会福祉法人久喜市社会福祉協議会運営費補助金交付要綱に基づいて、法人運営事業の人件費支出と事務費支出として福利厚生費と賃借料、事務室の使用料、その他の共助会退職掛金、退職共済掛金の支出に伴う支出の補助である。

問 緊急時通報システム、月1回の安否確認や看護師による健康相談を実施しているが、月1回といったその1回の次の日にぐあい悪くなったらどうするのだろうか。もう少し回数を増やすことはできないか。

答 現在月1回ということで安否確認をさせていただいているが、その回数を増やすことについては、今後研究させていただきたい。

問 助産施設入所事業で、さいたま赤十字病院に2人の方が入所されたというご報告をいただいた。そ

の中で、返還金が出ているが、ご説明願いたい。

答 平成21年度の児童入所措置費等の国庫負担金の返還金である。内容については、市のほうに交付されたのが15万5795円あった。支出額がゼロだったということである。また、県の負担金の返還金もあり、これは、やはり交付済み額が7万7897円に対し支出済額がゼロということで、全額返還をした。

問 保育園運営事業で、22年度の久喜市立の公立保育所の保育士について、職員の正規と非正規の数を伺う。

答 正規の保育士57人。正規の調理員が6人。それと、臨時職員の保育士は25人である。

問 合併浄化槽普及促進補助事業について、合計で91基設置が行われたということだが、住民のニーズに対して100%対応できたのか。また、地区ごとの設置基数は。

答 昨年も補正予算で4月当初に申し込みあった分の足りない分については補正予算を組み、ほぼ100%と理解している。久喜地域7基、菖蒲地域20基、栗橋地域23基、鷲宮地域41基、全部で91基である。

問 幼稚園園庭整備事業について、22年度幼稚園は芝生化されたと認識している。その後植えられて管理はどのようにされたのか。

答 芝生の管理は、芝刈り機を買い、職員が早朝に来て水やりをし、芝に生えている草を抜き取る作業を行っている。

問 差し押さえについて。市民税、固定資産税、都市計画税も合わせて、差し押さえ、滞納整理の件数と金額は。

答 差し押さえの件数は、個人市民税、22年度中は462件、法人市民税4件、固定資産税と都市計画税合わせて219件、軽自動車税が109件である。金額は、個人市民税が462件の1億715万6182円の税金に対して差し押さえをおこなった。また、法人市民税は154万3500円、固定資産税、都市計画税は1億2403万8624円、軽自動車税は511万4950円である。

問 市指定文化財「吉田家水塚^{みづか}」移転補償費7000万円が入っている。支出のほうでは1億円からの金額が出ているが、この差額の3000万円はどうなっているのか。

答 これは、移転に伴う補償費であり、年度当初で7割入った。物件を移転して更地になった段階で事務手続を踏んで、残り3割が入ることになっている。

《討論》

【反対討論】 杉野 修委員（日本共産党）

22年度予算が大きな有用財源と可能性を秘めておきながら、住民の要望にしっかりこたえていない。また、田園と商工業のバランスを備えた田園都市づくりという当初の合併の理念からは、かけ離れてきている。商工業、農業中心の取り組みをやっていくこと、それから社会保障の拡充を国、県にも要望し、福祉に手厚い新市を築いていくことを提案しながら、本予算について反対する。

【賛成討論】 鈴木精一委員（飛翔）

合併後初の決算は、歳入、歳出、収支の状況について明らかな合併効果が見てとれ、財政の改善につ

ながっている。歳出項目それぞれの予算執行についても課題はあるものの、適切妥当なものと言えるのではないか。本決算の審議過程での各種の要望を十分に取り入れ、今後の行政運営に生かしていただくことを強く要望し、賛成する。

【賛成討論】 矢崎 康委員（公明党）

合併による初めての予算編成であり、旧1市3町の事業等を合併後も最大限継承し、市民の不安を払拭し、安心感、そして新市の成長、発展を実感できるための編成とも言えるものだった。新久喜市が大きく発展をしている姿を随所で感じ、22年度における確実なる取り組みを見逃すことができない。市長を中心に職員が一丸となり、22年度を乗り越えたことを評価し、賛成する。

委員会付託議案とその結果

9月定例会では、25件の議案及び2件の請願がそれぞれ所管の委員会に付託され、審査が行われました。また、陳情9件も所管の委員会に送付され、検討されました。

予算常任委員会

- 平成23年度久喜市一般会計補正予算(第5号)について **可決**
- 平成23年度久喜市一般会計補正予算(第6号)について **可決**

決算常任委員会

- 平成22年度久喜市一般会計歳入歳出決算認定について **認定**

総務財政市民常任委員会

- 平成22年度久喜市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 久喜市都市宣言検討委員会条例 **可決**
- 久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 **可決**
- 久喜市税条例等の一部を改正する条例 **可決**

【反対討論】 石田利春委員（日本共産党）

税の取り立てには、丁寧な周知、説明をし、税を払える環境づくりこそ求められており、行政罰を強化することで改善されるものではない。また、未曾有の大震災に国を挙げて救済に取り組むことが求められおり、復興財源に回すべきと考えるため、反対である。

- 久喜市都市計画税条例の一部を改正する条例 **可決**
- 地球防衛宣言に関する陳情書
- 地球防衛宣言及び戦争のない世界実現の為の陳情書
- 「青毛アオゲ化行政」の違法性有無について話し合いご意見集約の機会を持って頂くお願い

環境建設水道常任委員会

- 平成22年度久喜市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市水道事業会計決算認定について **認定**
- 平成23年度久喜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について **可決**
- 平成23年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について **可決**
- 平成23年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について **可決**
- 平成23年度久喜市水道事業会計補正予算(第2号)について **可決**
- 久喜市路上喫煙の防止に関する条例 **可決**
- 久喜市水道給水条例の一部を改正する条例 **可決**

【反対討論】 杉野 修委員（日本共産党）

使用者の大半が値上げになり、小口需要者への配慮などされていない。そして、その事業の年次計画や資金計画は本委員会にやっと公表された状態である。議会にも諮られたことがない事業をあたかも決定事項のように大前提としてきたことは重大な問題と考える。値上げの根拠とされている各事業について、多くの市民にとっては何の検証もなされていない。市民による事前の事業評価を強く求める。そのことを強く指摘して、反対する。

【賛成討論】田島行雄委員（飛翔）

今後も水道事業が市民生活や都市活動を支える社会資本としての役割を確実に果たすためには、経営基盤の強化が必要である。審議会の答申を踏まえた久喜市水道給水条例の一部改正により、今後合併によりスケールメリットを生かし減価償却を図るとともに、水道の安定給水のため老朽化施設や老朽管路の更新、耐震化のより一層の推進を図ることを要望し、賛成する。

○旧1市3町の水道料金の統一について値上げをしないことを求める請願 **不採択**

【反対討論】鎌田忠保委員（飛翔）

水道事業の審議のときの資料から、企業債未償還残高と現金残高累計額を見てみると、やはり多少のことはしょうがない。やはり安定した水を供給するには、これもやむを得ないと思う。だから、私は賛成しかねる。

【賛成討論】杉野 修委員（日本共産党）

この請願者が求める値上げをしないでほしいという、この実態をしっかりと酌み取る必要がある。総じて小口利用者のほとんどの方々が値上げになるという、この1点をやはりしっかりと受けとめる必要があるのではないか。私は、そうした立場からこの請願に積極的に賛成したい。

○水道料金の値上げを認めず値下げを求める請願書 **不採択**

【反対討論】鎌田忠保委員（飛翔）

（水道料金を）上げなくてはだめだ、やっていけませんよ、というのに、値下げなんて言語道断である。

- 「ごみ指定袋」に反対する陳情書
- 「ごみ指定袋」に反対する陳情書
- 古利根川流域公共下水道への接続促進を求める陳情書
- 水道料金の値上げは年金生活者の死活問題であり、絶対に認めることはできません。9月議会に於いて値下げするよう十分な審議を求める陳情書
- 水道料金の値上げをしないよう求める陳情書
- 水道料金の値上げを認めず見直しを求める陳情書

福祉健康常任委員会

- 平成22年度久喜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について **認定**
- 平成23年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について **可決**
- 平成23年度久喜市介護保険特別会計補正予算(第1号)について **可決**
- 平成23年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について **可決**

市政に対する 一般質問 ※質問順に掲載しています。

盛永圭子 議員 (飛翔)

県道下石戸上・菖蒲線に歩道の整備を

問 前回6月の議会で歩道の整備をお願いした。答弁は「現地を何度か見た。危険であるので市として根気強く杉戸県土整備事務所に要望する」であった。

去る8月21日夜、58才の男性が後ろから来た車にひき逃げされ、尊い命が失われてしまった。早急に取り組むべきと思うが市の考えを伺う。

答 要望に先立ち現地を確認した。杉戸県土整備事務所へ整備を要望した。要望した県道においてこのような事故が発生したことを大変残念に思っている。早急に県土整備事務所に歩道整備を強く働き掛ける。

問 6月議会をお願いしているのに進展がないということは、要望が甘いのではないか。

答 利用者かつ地権者も含めた形のなかで要望していく。早速、関係する区長さん方に協力していただき、要望書を杉戸県土整備事務所に提出した。

市内、公共交通網の整備を

問 市街地を循環バスが運行され、一部の地域の方は便利に利用している。交通不便地域や、高齢者対策としての公共交通の整備をされるべきと思うが、市の考えを伺う。

答 循環バスの再編および延伸に加え、デマンドバスを栗橋・鷲宮地区および菖蒲地区において、導入する案が公共交通検討委員会で示された。



市内（一部地域）を走る循環バス

田村 栄子 議員
(無会派)

南栗橋液状化問題について

問 液状化による被害認定で国から支援を受けられない方々に対して、久喜市独自の支援並びにその他の公的義援金の支給方法、金額、時期等を



市役所内の被災地支援の募金箱

梅田 修一 議員
(飛翔)

宮城県七ヶ浜町への支援、協力関係の構築について

問 鷲宮商工会は、復興支援商品券の売上げ最大100万円を、鷲宮と同じくアニメによるまちおこしが話題になり、大震災と津波で大被害を受けた宮城県七ヶ浜町への義援金に充てる。市として七ヶ浜町に対して何らかの復興協力を行う考えはないか。

答 支援先の選定は、埼玉県または全国市長会の要請によるところであるが、今後新たな支援先の話があったときには可能な限り支援してまいりたい。

問 久喜市も被災地となる可能性を考え、特定の自治体と継続的な関係を構築する必要があるのでは。

答 他の自治体との応援協定の必要性は十分認識している。鷲宮商工会とつながりのある七ヶ浜町との相互

齋藤 広子 議員
(公明党)

高齢者への聴覚検診体制の充実で認知症予防を

問 高齢者が集まるいきいきデイサービスなどで簡易チェッカー、聴覚検査を使つての聴覚チェックを実施できないか。

答 高齢者の方が難聴によって閉じこもりになり、さらに閉じ



くぎファミリー・サポートセンター

伺う。

答 市内企業、団体、多くの市民からの寄付金が、8月末現在で636万9237円である。また、日赤等の義援金は、住宅被害の半壊以上の被災者が対象で、8月末現在配分合計6638万5904円を被災者へ支給している。国の支援が受けられない方に対しては、久喜市被災者住宅再建支援事業を実施する考えである。住宅の地盤復旧工事や住宅の補修工事等に要した費用に対して100万円を限度に支給したい。

放射線について

問 放射線教育を小中学校で行うべきだがいかがか。また、担当教師の養成、確保はできているか。

答 中学3年の理科で本年度から前倒しで放射線を学習することになっている。小中学校での学習は発達段階に応じて行うことになり、放射線に関する副読本の指導計画作成後、速やかに取り組むよう学校に働きかける。

応援協定については、相手の意向等も確認する必要がある。今後できるものがあれば検討したい。

問 セツ浜町に商工会から義援金を届ける際に、久喜市として同行し被災地の現状認識をしてほしい。市長自ら被災地に入って、15万7000人の生命と財産を守るための感覚をとぎすませていただきたい。

答 被災地へ赴き、現状を直接見て、話を聞いて、肌で感じることは、本市の職員として大変意義があり、将来の仕事に確実に活かされるものと思う。私自身も、アニメを通じて本市とつながりのあるセツ浜町に、お伺いする機会があればと。検討したい。



こもりから認知症への進行を防ぐために有効であると思われるので、まずは試行的にでも簡易チェッカーによる聴力検査を取り入れる方向で検討してまいりたいと考えている。

問 ファミリーサポートセンターの建てかえの計画はどのように進んでいるか。

答 久喜区域内において、ほかの場所で適当なところがあれば、移転することが望ましいと考えており、引き続きその方向で検討してまいりたい。

問 デマンドバス導入についてどのようにお考えか。

答 デマンドバスについては、公共交通検討委員会においても検討がなされ、報告書案において、デマンドバスを栗橋、鷲宮地区及び菖蒲地区の2つの地区において導入する案が示されたところである。

その他の質問◇介護サービス事業所ガイドブック作成について◇おもちゃ図書館の充実ある活用について◇公共施設管理方法について

石川 忠 義 議員 (政策会議)

ゲリラ豪雨による水害対策を早期実施すべきだが

問 近年、短時間に大量降水がある、いわゆるゲリラ豪雨が久喜市を襲っている。熊谷気象台のデータを調査すると、久喜市を観測点とした1976年から2011年8月までの間で、1時間当たりの降水量が多い上位1番から10番に2000年以降の日が7日も記録されている。そして、このゲリラ豪雨によって、従来の排水機能を超えた降水量が市街地に急激に溜まることから内水氾濫水害が増加している。特に久喜東3丁目の住宅街の一部は30cmから50cmほど道路冠水し、市民生活を麻痺させている。また、諏訪前地区との隣接部分も道路と歩道が冠水している。早急に今後の対応を進めるべきであるが考えを伺う。

木村 奉 憲 議員 (日本共産党)

国保税の引き上げ答申は問題がある

問 8月11日に国保運営協議会が答申した内容は、現在でも県内トップクラスの税をさらに多くの世帯に負担増を強いるもので問題だ。中にはモデル



青葉団地にオープンしたスーパー

山田 達 雄 議員 (飛翔)

利根川堤防強化事業とまちづくりについて

問 利根川堤防強化事業の進捗状況は。
答 事業対象面積約53,000㎡に対し23年度末買収率は約90%となる。家屋移転も139戸中、40戸が移転。
問 今後の工事施工スケジュールは。
答 現在埋蔵文化財について試掘調査をしている。24年度以降本調査の後、本格的工事に着手。
問 当該地における個人施行の区画整理事業とは。また事業主体は何処になるのか。
答 本来八坂神社の個人施行となるところだが、堤防強化事業と併せたまちづくりを進める上での位置づけや県道、市道の整備、事業の公共性、緊急性などから、市が八坂神社の同意を得て事業を代行する「同意施行」

答 ゲリラ豪雨対策は、早めの巡回パトロール・冠水箇所の通行規制などの緊急対策を実施している。久喜東3丁目地産団地内公園付近の土地は低い地形である。市道久喜9124号線の道路側溝は断面の大きいものに改修されている。しかし、市道久喜9002号線の道路側溝は、団地造成時の側溝と見受けられ、断面が小さく一時的に雨水排水量が側溝の許容量を超え、道路が冠水すると考えられる。今後は、現地調査をして早期改修に向け努力していく。また、諏訪前地区との隣接する部分も調査をして関係課と協議を進める。



久喜東3丁目住宅街の道路冠水

ケースでも10万円以上の負担増となる。また、審議会論議では滞納世帯の事態把握は十分されていないのではないか。

答 負担が増える世帯があれば一方で減る世帯もある。一般会計からの繰り入れは2か年で7億8000万円とするなど影響額を抑えた。低所得者が加入しての構造的な現状を認識してほしいという委員の意見もあったが、答申内容に問題があるとは考えていない。

青葉団地のスーパー再開へ

問 1年前に鷲宮・青葉団地のスーパー撤退による「買い物難民問題」について一般質問したが、その後の経過は。

答 都市再生機構に1日でも早い再開を働きかけてきたが、鷲宮団地は6月16日、青葉団地は9月1日にいずれも全日食チェーンが出店した。周辺の商店はどのようにバックアップできるか、地元自治会等と協議する。

その他の質問 ◇福島第1原発事故による射能汚染問題について ◇生活保護問題について

を検討している。

問 区画整理事業地内に予定されている防災公園への避難路は八坂神社への進入路ともなるが。

答 避難路について整備することは概ね決定しているが、所有形態や具体的な整備手法については現在協議調整を進めているところである。

問 「利根川と栗橋人のふれあうまちの実現へ向けた提言書」で、提言された事項の進捗状況は。

答 花いっぱい運動や栗橋宿提灯ライトアップ事業等を実施。市は協議会の事務局として参加し、地元の人共々地域の活性化に向けた活動に努めている。



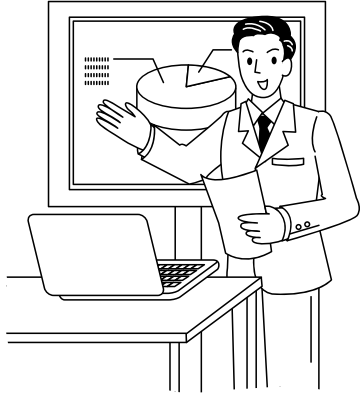
国道4号利根川橋

鈴木 精一 議員 (飛翔)

世界的な金融崩壊が及ぼす影響について

問 金融崩壊は自治体運営の最大リスク。現在の金融混乱をどう捉えているか。

答 欧州の信用不安、米国債の格下げなど、実体とかけ離れたバブル経済の崩壊がおこっている。今後を見することは難し



いが、引き続き厳しい状況が続くと予測している。

問 金融崩壊が市政に与える影響を、リスク管理という視点でどう考えるか。

答 世界的な金融崩壊が起こるかは分からないが、市レベルで想定されるのは企業業績不振、所得減収による市民税の減収、地価の下落、設備投資の減少による固定資産税の減収。国レベルでは大幅な税収減や国債の発行に影響がある。いまの生活水準を維持するのは困難と予測する。

問 自治体としての備えを進めるべき。

答 金融崩壊リスクへの対応として基礎的財政収支の健全化に努める。大きなリスクとなりうる地方債は縮減を図る。行政改革実施計画等を今年度中に策定し早期に実施する。国レベルの金融、国債の発行、円高、株安、マネーの暴走、これらは市として対応していくことは難しい。財政状況の変化に対応できるよう一層の財政健全化に取り組んでいく。

石田 利春 議員 (日本共産党)

南栗橋液状化被害 更なる支援が求められるが

問 国と久喜市独自支援が実施されるが再建には十分といえない。宅地販売業者にも支援を求めるべき、又県の支援を引き続き求めるべきだが。

答 事業者への支援は購入者との契約であり考えていない。県への支援は今後も機会をとらえて要望していく。

屋根瓦被災 固定資産税・都市計画税の減免は

問 被災にあったすべての人へ支援が届くようにすべきだが。

答 屋根瓦の被災は824件あった。まだ292件に留まっている。写真・領収書などの確認で減免の対象としている。期日も9月30日以降も対応する。

シルバー人材センター請負 賠償責任は

問 シルバー人材センターの工作中、賠償責任が伴う事故が発生した場合本人が1/2負担となった。このような場合シルバー人材センターで負担すべきでは。又、安全管理を徹底する指導が求められるが。

答 賠償については安全適正就業委員会で1/2と決定している。安全就業の徹底を市としても指導していきたい。

その他の質問 ◇用水路の蓋かけの上を通過する車の騒音対策は(栗橋仲二会館前) ◇水道ビジョン、配水ブロックについてなど。



屋根瓦の破損824件確認されています。固定資産税など減免があります。

杉野 修 議員 (日本共産党)

東日本大震災の被災地に市独自支援を

問 被災地に対しては全国の自治体から職員の支援が旺盛に取り組まれている。岩手県、宮城県、福島県三県に対して累計5万6923人もの派遣人数である。自治体職員ならではの活躍の場である。ぜ



東鷲宮駅地下道。この右手からエスカレーターがつつ計画も(正面から西口へ出る)

ひ積極的に取り組まれないが。また自転車などの物資の送付も検討されたい。

答 7月から8月にかけて久喜市では岩手県山田町に延べで10人を派遣した。また、石巻市に対し米、粉ミルク、紙おむつなどの救援物資(10tトラック1台)を届けた。今後は全国市長会から要請があれば検討したい。

東鷲宮駅の橋上化・バリアフリー化事業について

問 「橋上化」と「地下道から」の二通りの案がJRから示されているが、住民・利用者にとっては「橋上化」が最も望まれている。と同時にこれ以上の先延ばしではもう待てないと声が上がっている。二案を市はどのように検討したのか。また、地下道から駅舎へのアクセスの場合、液状化対策は行われるのか。事業着手はいつごろになるか。

答 市としては地下道を使つてのバリアフリー化を選択したい。液状化対策は行う。事業着手まで2年間は調査・設計に必要となる。

春山千明 議員 (政策会議)

緊急災害時の生活用水確保のため防災井戸を 他

問 久喜市内の緊急避難所に指定されている施設に防災井戸を設置し、さらに設置していながら未使用の防災井戸は、使用できるようにすべきだが。

また、家庭に設置してある井戸を防災井戸として指定し、災害時の生活用水確保のための対策とするべきだがいかがか。

答 現在防災用井戸として利用している箇所については、整備して使えるか対応していく。また、個人所有の井戸は、所有者の協力が得られるように、市としての協力依頼等をしながら、災害時には飲料水あるいは生活用水として活用できるよう検討していく。

猪股和雄 議員 (政策会議)

放射能から子どもたちを守るために

問 学校や保育園等で、土壌中の放射性物質検査を定期的実施していくべきである。

答 現在のところ、定期的な検査を実施する考えはない。年内にもう一回、検査を実施したい。

問 学校と保育園の給食について、食材の放射性物質検査を実施するべきである。



江面第二小学校校庭での放射線量測定

内田正 議員 (政策会議)

交通安全対策、歩道の整備について

問 市街地中央通りにおいて店の前、歩道半分以上も占有して長年営業をしている事業者がいる。市民は、明らかに公道を占拠しているという認識をしているが、占有をしているところは公有地なのか、私有地なのか伺う。私有地であれば、歩道の幅が狭いため、安心して通行ができる歩道幅を確保していただきたい。当局の取り組む姿勢はいかがか。

公有地の歩道であれば、当局の管理怠慢は遺憾である。速やかに公道、歩道である旨、占拠部分は歩道を確保すべき。現状をどう認識しているか伺う。

また、公有地の占有を認め続ければ、法的な権利も失い、市の責任は逃れられないと思うが、いかがか。

放射能を正しく理解するための指導について

問 『放射能はうつる』など間違った認識からいじめなどに発展することがないように、正しい指導をしなければならない。多くの情報からその正確性を追求し、正しい認識をしっかりと伝えていくべきだが。

答 文科省作成の『放射能とは何か、放射能の人体的影響、放射能に関する留意点』などを記した副読本を各学校に配布し、それぞれの発達段階に応じ指導をしていく。



清久小学校に設置の『防災井戸』

その他の質問 ◇ さくら、すみれ保育園の建て替えについて。◇清久工業団地内市道の樹木管理について。

答 市場に流通している農産物等は基本的に安全性が確認されているので、市独自で行う考えはない。

問 校庭などでの放射線量の上昇で、子どもたちの屋外活動を制限する基準を定めておくべきである。

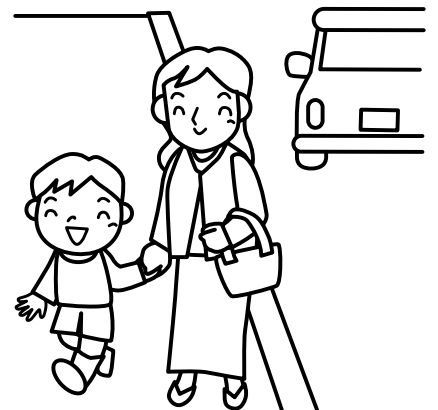
答 市の独自基準を定める考えはない。文科省の年間1ミリシーベルトの目標値を目安として、0.31^{マイクロ}シーベルトを継続的に超えた場合には、子どもたちの屋外活動を制限するなどの対応策を講じていく。

問 消費者庁の諸制度等を活用して、食品等の放射性物質検査機器の設置を進めていただきたい。

答 関係各課と協議していく。

その他の質問 ◇身障者用駐車場利用証交付制度の拡充。◇けやき通りの剪定と、街路樹の適切な管理を。◇公共施設に太陽光発電、雨水貯留施設を計画的に設置促進を。◇道路照明灯の消灯の中止を。◇衛生組合のごみ指定袋の導入は中止し、菖蒲、栗橋、鷲宮での指定袋も廃止すべきである。

答 この道路は県道であり、平成15年4月に全線開通し、既に供用を開始している。埼玉県でも事業終了間際まで用地の取得に努力したが、結果的にご質問の土地が未買収のままである。市民の皆様が現地を通るたびに、歩道の一部が不法に占有されているように見えてしまうが、現在でも私有地ということになる。ご指摘のように、県道、市道にかかわらず、安心安全な歩道をつくることは本市の責務として引き続き努力してまいりたい。



鈴木 松蔵 議員 (飛翔)

学期制について

問 現在の検討状況について伺う。旧久喜市内の小・中学校では2学期制であり、旧菖蒲町、旧栗橋町、旧鷲宮町では3学期制である。合併協議では、新市において調整するとなっている。(1)現在の検討状況について伺う。(2)結論



園部 茂雄 議員 (政策会議)

三世帯同居支援について

問 今後ますます進む少子高齢化による高齢者の孤立防止と家族の絆の再生を目的として、三世帯の家族が同居、または近隣に居住するために必要となる費用の一部を助成する、三世帯同居支援策を講じる自治体が出て来たが、久喜市として独自の施策を講じるべきと思うが如何か伺う。

答 三世帯同居あるいは親族が近くに住む近居により、家族が支え合うことにより、育児環境が改善され、少子化対策と高齢者の孤立防止に期待される。三世帯同居は、それぞれの世帯における個別の事情が大きく、またどのような手段が適当か検討が必要、これらの課題について研究していく。

矢崎 康 議員 (公明党)

脳卒中対策について

問 脳卒中予防対策の内容と今後の対策は。

答 久喜市の脳血管疾患の死亡数の推移は、平成19年は147人、平成20年は139人、平成21年は152人。

生活習慣病予防の対策として、まずは健康診査の受診が重要。特定健康診査は、平成20年度から健康保険組合や国民健康保険等の保険者が



(結果)はいつごろでののか。(3)どの様なことが検討されたか。今後どの様なことが検討されるのか。

答 (1)市内各地区の校長、教務主任、保護者代表から成る学期制検討委員会を立ちあげ学期制のあり方について検討している。今まで二回開催され、委員会の趣旨説明、役員を選出、2学期制導入の経緯などの説明、意見交換を行った。第3回目は12月に予定している。2学期制、3学期制における長所、欠点、保護者の声、2学期制導入の動向、新学習指導要領が完全実施された現在の課題について議論していただく。(2)委員の皆様からの意見を幅広く伺いながら、さまざまな角度から十分かつ慎重に検討していただきたい。現段階では、検討委員会としての結論を出していただく期限は設けてない。(3)夏休みは、2学期制では、学期の途中で長期休業があり、長期休業を有効に活用し休業中の努力の成果を学期末の学習評価に反映できる。

問 2年前に大家族同居世帯への支援を取り上げ、当時は先進地事例が無く、今後研究していくと答えた。先進地はこの間に三世帯同居支援策を研究し独自の施策を導入しているがどう考えるか。

答 先進地については、政府が平成18年以降三世帯同居施策の推進をしてきた中で、いろいろ研究して実現をしてきた経緯がある、今後は公費を使うことにもなるので、それらを評価し研究していく。

その他の質問 ◇シティブロモーションの推進について ◇地デジ移行後の対応について ◇指定管理者の雇用状況について。



実施主体となり開始され、脳卒中の原因と言われる高血圧や脂質上昇、糖尿病などの生活習慣病の予防に着目したもの。当市では、国民健康保険の被保険者を対象に特定健康診査を実施し診査の結果は、生活習慣病の発症リスクの高い方には特定保健指導を実施し、脳卒中を含めた生活習慣病の予防につなげている。

問 市ホームページ内で市民への啓発強化に努め脳卒中の意識啓発チラシの全戸配布をすべきだが。

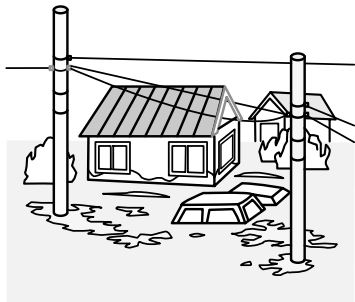
答 現段階ではチラシの全戸配布は考えないが、わかりやすい脳卒中というテーマの講演会を、平成24年3月11日に開催する予定。今後も市民への正しい知識の普及のため、各種健康講座や健康相談等の機会をとらえ周知を図るとともに、広報紙やホームページ等を通じて脳卒中に関する知識の普及啓発に努めたい。また脳卒中の再発防止としては、食生活や運動等の生活習慣の改善が欠かせないので、生活習慣病予防の対策を今後も積極的に推進したい。

岡崎克巳 議員 (公明党)

大雨対策について 他

問 (1) 大雨に対する認識と考えは。(2) 豪雨による危険箇所数とその対応は。(3) 本庁と支所の災害対策本部の設置判断は。(4) 雨水排水計画の見直しや統一は。(5)

幸手県道オーバブリッジ東側の交差点の対応と県への要望は。(6) 久喜東停車場線は車やバスが通るたびに玄関まで雨



井上忠昭 議員 (飛翔)

防災体制～震災の教訓をどう検証しているか～

問 先の質問(6月議会)で検証は今後とあった。ではその後どう検証し、いつまでにまとめるか。

答 市災害対策本部班長及び関係所属長に意見照会を行い、全庁的な行動記録を初め、課題、問題点を明らかにし、現時点での行動実績や課題をまとめている。いまだ災害対応は継続している状況で、9月末を目途に久喜市の被害状況とその対応の総括としてまとめていきたいと考えている。

問 その検証は予定されていた(台風の影響を考慮して中止)防災訓練の計画にどう反映されたか。

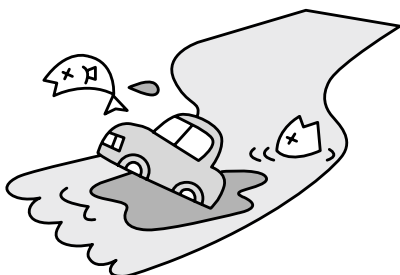
答 (中止となったが)実施に向けた計画の中では大震災で得た教訓を参考に、飲料水確保訓練や消防署へ

戸ヶ崎博 議員 (公明党)

水害対策について 他

問 上町地内(25の1番地先)の雨水排水ポンプは能力に問題があるのではないか。集まってくる雨水のスピードに追いつけない、能力の改善を。

答 上町の雨水排水ポンプは、1分間で約1立方メートルの能力、2基が設置されている。ゲリラ豪雨や台風時の大雨時には冠水してしまう。今後早急に調



水が入るとの苦情があるが対策は。

答 (1) 短時間で多くの降雨量があり災害につながることから、状況に応じた職員動員配備体制をとる。(2) アンダーパスが16か所ある。早めの道路パトロールと交通止め等の処置が必要。(3) 防災計画で基準を定めており、初期は準備体制を講じ状況に応じた応急対策を講じ、さらに全庁的な体制を組む。(4) 新市としての計画の策定の必要性は強く認識を持っている。(5) 県は冠水対策について整備計画はないが、調査していくとの事である。(6) 「道路冠水のため通行止め」のバリケードを付近の市有地に配備した。調査を行い、排水先を一部変更した。引き続き調査を行う。また、警察と協議しながら、バス事業者と話し合いの機会を作る。

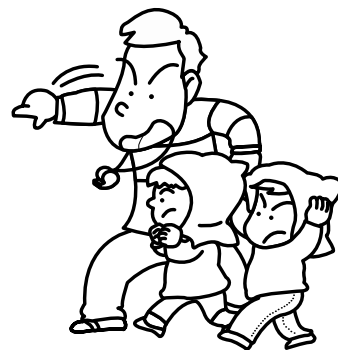
問 中学校外部指導者に助成を行ってはどうか。

答 専門的な知識や技能のある外部指導者の活用は大変有効である。県の助成金を前向きに検討する。

の通報訓練など、新たな訓練を用意した。

要望 検証を訓練に生かしているかは、久喜市の防災に対する姿勢を表す。市民の方への呼びかけやその内容についても今回を逃せば1年後になり、防災に対する意識も薄らぐ。危機管理とは、最悪を想定し、そこにいかに最善を尽くせるかにかかわる。迅速な検証と実践が必要である。

その他の質問◇久喜市本町地区のサギ、カラスの被害について◇医療問題について◇スポーツ基本法施行に伴う久喜市の姿勢◇都市計画道路杉戸・久喜線及びそれに接する市道の安全対策について



査・検討の上、能力の大きなポンプと交換するなど改善を図る。

教育について

問 教育に関する3つの達成目標の検証は。

答 市内小学校は県平均と比較すると、読む、書く計算のいずれも上回っている。中学校は読む、書くは上回っているが、計算では学年によって下回っている。学力向上に今、協議をして取り組んでいる。

問 図書館の指定管理者への取り組みは。

答 公の施設の管理運営について検討しているところであり、図書館についても指定管理者について導入の可否を含め検討している。

被災地支援のために

問 農水省の「食べて応援」の推進のために、様々なイベント等における取り組みを考えてはどうか。

答 イベント等の主催者等に働きかける。又市民まつりでは福島県専用ブースを設けるとのことである。

大谷 和子 議員 (飛翔)

教育センターの設置について

問 さまざまな教育事業の充実のため、教育センターを設置できないか。新たに建物を建設しなくても、34校が集まる大きな会議に対応することができ、駐車場も大きく、東鷲宮駅からバスも利用できる、鷲宮総合支所5階に教育センターを設置してはどうか。

答 小中学校が34校となり、校長会や教頭会、各



鷲宮総合支所5階のフロア

青木 信男 議員 (飛翔)

民間開発による産業拠点づくりについて

問 菖蒲南部開発は、菖蒲地域のため、ひいては久喜市のためである。東日本大震災後、比較的地盤がよいとして菖蒲地域を企業が注目している。防災物流倉庫があれば災害・緊急時に、関東地方はもとより東海地方や東北方面に圏央道を利用し物流の効率アップが図られる。市長の所見を伺う。

市長 菖蒲南部開発は、町時代から菖蒲町の大変強い願望である。地元においても大変強い要望があることも改めて承知した。1市3町合併後の新久喜市にとって、優良企業を誘致し操業してもらうことは、税収、雇用確保等からも極めて大切な事業である。地元の皆様方のご意向を十分に勘案しながら、県のほうとも今

並木 隆一 議員 (飛翔)

久喜市の総合的な排水対策は

問 都市化が進み、集中豪雨時に道路冠水等の被害が発生するが、久喜市としての雨水排水対策は。

答 1時間当たりの降雨量が30mmを超えると、道路冠水等の被害が発生している。

市内を流れる県管理の一級河川は、中川、青毛堀川、備前堀川など10の河川がある。これら河川整備計画



菱、アオコ等で覆われた宝治戸池

種研究会等のため各総合支所を多く利用している現状がある。既存施設をできるだけ有効活用し、諸業務をより円滑に推進し、教科の研究や生徒指導、教育相談等の研修、保護者との教育相談や教育情報を提供できる場所等も確保したい。新久喜市にふさわしい教育機関の組織、機構の構築を研究していく。

学童保育施設の改善について

問 東コミセンの東鷲宮小学校の学童保育は早急に施設を改善し受け入れ態勢を整備すべきだが。

答 現在他の場所への移転等を視野に検討している。

問 鷲宮小と上内小の子どもたちが通っている児童館の学童クラブを他の場所に移転できないか。また、学校ごとに設置できないか。

答 十分な保育環境を提供できていない状況は認識している。それぞれの学校内に放課後児童クラブを設置することが望ましく、学校及び関係部署と協議を行い、学校内への設置に向けて調整していく。

後も鋭意努力していただきたい。

要望 新市の基本理念、協働、市民主役のまちづくりのもと、市民がみずからのまちづくりのために、産業拠点として民間企業を誘致し開発したい、という声が、市民そして地権者の皆さんからあることをお伝えし上げる。民間開発の場合、市の予算を使わずに新しい企業が進出し、地元雇用も増えるであろうし、固定資産税については確実に増える。それは、産業、経済の分野の目標を満たすことになる。新市基本計画の内容に沿って進めたとき、市として積極的な姿勢で取り組んでいただきたい。民間開発を望む95%を超える仮同意を得た地域



民間開発を望む95%を超える仮同意を得た地域

では、当面の改修目標として、時間雨量50mm程度の降雨に対して、安全に流下させる整備目標であるが、進捗が遅れている状況にある。

総合的な排水計画の策定の必要性は強く認識しているが、今後、県管理の一級河川の拡幅整備計画との整合を図りながら、計画策定に向け努力していく。

栗橋地区・宝治戸池について

問 調整池の機能を有する宝治戸池の位置付けについて久喜市としての考え方は。また、現在、菱、アオコ等で覆われている池の浄化対策は。

答 宝治戸池が、周辺既成市街地の雨水調整機能を果たしている重要な池であることは、十分認識している。市所有と民間所有者とがあるが、今後は関係地権者との調整を図り、親水公園の必要性を含め、検討していく。水草の対処や全体調査については、関係機関との協力を図りながら検討し、宝治戸池の環境浄化に努めていく。

宮崎利造 議員 (飛翔)

職員研修の実施及び農地の耕作放棄地対策について

問 合併して1年5カ月が過ぎ、職員も落ち着いて仕事に従事していると思うが、いまだ職員の仕事意識に温度差があるのではないか。昨年の6月議会における私の質問に対し、当局から早急に職員研修を実施する旨答弁があったが、その後について伺う。

答 仕事に対する意識統一のため、全体研修を実施し市職員としての資質の向上を図ってきた。今後もより専門的な知識や技能を習得し、様々な行政ニーズにこたえるために、必要不可欠な危機意識やその防止等を学ぶ研修を年度内に実施していきたい。

問 農業者の高齢化や後継者不足による労働力の減少等による農地の耕作放棄地に対する今後の対策につい

て伺う。また、雑草等が繁茂した農地の草刈り等の指導はどのように行っていくのか伺う。

答 農業委員会では、毎年、農地の利用状況調査を実施し、その調査結果をまとめ、遊休農地所有者等に対し、耕作のお願いや草刈り等により耕作できる状態に保全する等、適切な農地の管理について文書でお願いしている。自分で草刈り等ができない高齢者や遠方に住む不在地主には、環境保全課で行っている除草の代行制度や、シルバー人材センターで行っている草刈り業務等もあわせて周知し、少しでも多くの農地が適切に保全されるよう努めていく。



耕作放棄された農地（久喜市除堀）

足立清 議員 (公明党)

久喜市におけるPRE戦略の導入を提案する

問 久喜市が保有する公的不動産を、PRE・パブリックリアルエステートといい、PRE戦略とは久喜市が所有する公的不動産を戦略的観点からマネジメントし、適切で効率的な管理運用を目的としている。財政状況を取り巻く環境も厳しい時にあって、市が財政の健全化に向け、公



的不動産を経営的な観点から捉え、賃貸運用や売却なども視野に入れた最適化を図る必要がある、そこにPRE戦略の主眼がある。また、老朽化施設や利用頻度の低い施設は維持管理費の増大につながっており、適切で効率的な管理運用を図る上から、先進市を参考にPRE戦略の導入を提案する。

答 公共施設は経年による老朽化が進み、修繕費等の維持管理費が増大するとともに、施設の大規模改修では多大な経費が必要となっている。このような背景から、行政資産の老朽化の状況、利用実態等を把握し、施設の延命化、配置の見直し、転用あるいは売却など、本市における公的不動産の有効活用に取り組むことの必要性は認識しており、PRE戦略の手法について調査研究をする。

その他の質問◇公園に健康遊具の設置促進について◇東鷲宮駅連絡通路のバリアフリー化について◇久喜市道17号・18号線の延伸について

田島行雄 議員 (飛翔)

局地的な豪雨対策について

問 指定避難場所への避難経路はどのように確保されているか。また、合併後指定避難場所が変更された場所はあるか伺う。

答 市内では101カ所の施設を指定避難場所としている。主に地震災害、風水害時のための避難所として、市内の公共施設をはじめ地域コミュニティセンターの拠点となる施設等を指定している。しかし、台風や大雨等により避難所に向かう道路が冠水している状況も起こり得るので、いざというときに備え、普段から安全な避難経路等を確認するよう呼びかけているところである。なお、合併後における指定避難場所の変更はない。

医療体制の充実について

問 鷲宮団地では唯一あった内科医院が廃院となった。今では高齢者が大変多く、ほかに通院するのも大変な状況である。地域医療の充実を目指す久喜市として、この現状をどう認識しているか。

答 廃院となったことは、大変残念なことである。初期医療から高度医療まで切れ目のない医療提供体制実現のために、中核病院と地域の医療機関が、役割分担と機能連携により、地域で医療が完結できる体制となるよう努力しており、今後も医療機関を探している方には複数紹介するなど対応していく。



委員会所管事務調査

議会運営委員会

8月9、10日に、議会運営委員会による視察研修を実施しました。

1日目は、京都府京丹後市を訪問し、議会改革について説明を受けました。また、2日目には、三重県鈴鹿市役所を訪問し、予算、決算議案の審査について説明を受けました。



三重県鈴鹿市での研修

総務財政市民常任委員会

10月19、20、21日に、総務財政市民常任委員会による視察研修を実施しました。兵庫県明石市では、「安全安心のまちづくりについて」の説明を受け、「明石市防災センター」を視察しました。また、大阪府羽曳野市では、「事務事業評価について」の説明を受け、大阪府東大阪市では「南海・東南海地震を想定した減災に繋がるまちづくり」についての説明を受けました。



兵庫県明石市防災センター視察

文教常任委員会

9月21日に、教育委員会の審議会及び、教育関連施設等の状況を調査するため、文教常任委員会を開催しました。中央図書館、水塚、栗橋地区内の私立幼稚園の視察を行いました。



水塚の外観

10月20、21日に、大阪府四條畷市を視察し「学期制について」の説明を受けました。また、兵庫県小野市では、「おの夢と希望の教育」として「小中連携教育について」「ICT教育と

授業改革について」「ハートフルチャレンジおのの検定について」の説明を受けました。



兵庫県小野市での研修

環境建設水道常任委員会

9月21日に、市内7箇所の水道施設(浄水場)の現況等について調査するため、環境建設水道常任委員会による視察を実施しました。栗橋地区の佐間浄水場、鷺宮地区の八甫、鷺宮浄水場、菖蒲地区の菖蒲、森下浄水場、久喜地区の本町、吉羽浄水場を訪問し、久喜市上下水道部の職員から各施設の概要、更新計画等の説明を受けました。



栗橋地区の佐間浄水場視察

意見書

議員提出議案として可決された意見書を、埼玉県知事に送付しました。

●埼玉県久喜市南栗橋地域液状化被災に対し埼玉県の支援を求める意見書（抜粋）

東日本大震災では、世界最大規模と言われる液状化現象が発生し、関東地方においても液状化による被害が広範囲で発生しました。埼玉県内では、久喜市南栗橋地区において、地盤の液状化とともに家屋の傾斜、さらにはライフラインにも被害が及びました。

このような被害住民に対し生活再建に向けた早急な支援が求められる中、国の「被災者生活再建支援制度」などの公的支援が、議会の取り組みを含めた多くの関係者の努力により、適用されることが決定しました。

又、久喜市独自でも6月議会において一定の支援が実施されることが明らかになりました。

しかし、これら国の公的支援制度や久喜市独自の支援が適用されたとしても、被災者の生活再建は十分とはいえない状況があります。

以上のことから被災者生活再建に向け、埼玉県において支援策を講じられるよう下記内容の意見書を提出するものです。

記

1. 液状化による被害の実態に即し、埼玉県において支援策を実施すること。

平成23年10月4日

久喜市議会

本会議傍聴者数

委員会傍聴者数

8月30日（議案上程）	3人	議会運営委員会（5回）	4人
9月2日（一般質問）	25人	9月13日（予算常任委員会）	3人
9月5日（一般質問）	27人	9月14日（総務財政市民常任委員会）	0人
9月6日（一般質問）	23人	9月15日（環境建設水道常任委員会）	18人
9月7日（一般質問）	30人	9月20日（福祉健康常任委員会）	1人
9月9日（議案質疑）	7人	9月27日（決算常任委員会）	1人
10月4日（討論・採決）	8人	9月28日（決算常任委員会）	1人
合計	123人	9月29日（決算常任委員会）	0人
		10月4日（決算常任委員会）	0人
		合計	28人

編集後記

一面の黄金色の田んぼの稲がきれいに刈り取られ、見渡す限りの田園風景が広がっています。刈り取られた田んぼにはたくさんの白鷺が遊びに来ていました。遠い西の秩父連山もくっきりと見える日が多くなりました。

今年の稲の作柄は平均を100とすると、全国平均では97と聞いています。まあまあのお出来栄えとのことで喜

んでいます、それ以上の喜びは、どの田んぼのお米からもセシウムが不検出であったことです。おいしい新米をお腹いっぱい食べられることに感謝したいと思います。

前号までありました定例会本会議出席状況表は、本号より省略し、ホームページに掲載することになりました。

（盛永）

陳情

●地球防衛宣言に関する陳情書

荒木 實

●地球防衛宣言及び戦争のない世界実現の為の陳情書

荒木 實

●「ごみ指定袋」に反対する陳情書

久喜市のゴミ問題を考える会 代表 矢野裕美

●「ごみ指定袋」に反対する陳情書

生活クラブ生協 久喜支部 代表 伊藤道子

●「青毛アオゲ化行政」の違法性有無について話し合いご意見集約の機会を持って頂くお願い

関口 博

●古利根川流域公共下水道への接続促進を求める陳情書

栗橋地区伊坂苑自治会 代表 伊坂苑区長 藤沢正幸

●水道料金の値上げは年金生活者の死活問題であり、絶対に認めることはできません。9月議会に於いて値下げするよう十分な審議を求める陳情書

全日本年金者組合 埼玉県本部 栗橋支部 代表 榎山富次

●水道料金の値上げをしないよう求める陳情書

全日本年金者組合・鷲宮支部 支部長 榎本孝夫

●水道料金の値上げを認めず見直しを求める陳情書

埼玉土建久喜幸手支部栗橋分会 代表 島田林蔵

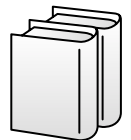
議会を傍聴してみませんか

- 市議会は皆さんが自由に傍聴できます。
本会議 定員50人
委員会、全員協議会、議会運営委員会 定員15人
- 手話通訳をご希望の方は、事前にお申し込みください（日程等については、ご相談に応じます）。
議会事務局
TEL0480-22-1111
（内線5114、5115）
FAX 0480-21-6061
議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で

議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、議会事務局、県立及び市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、9月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、11月下旬頃になります。



広報委員会委員

- ◎ 大谷 和子
- 園部 茂雄
- 石田 利春
- 井上 忠昭
- 田村 栄子
- 齋藤 広子
- 盛永 圭子
- 柿沼 繁男
- 猪股 和雄
- 岸 輝美
- 梅田 修一

（◎委員長 ○副委員長）